



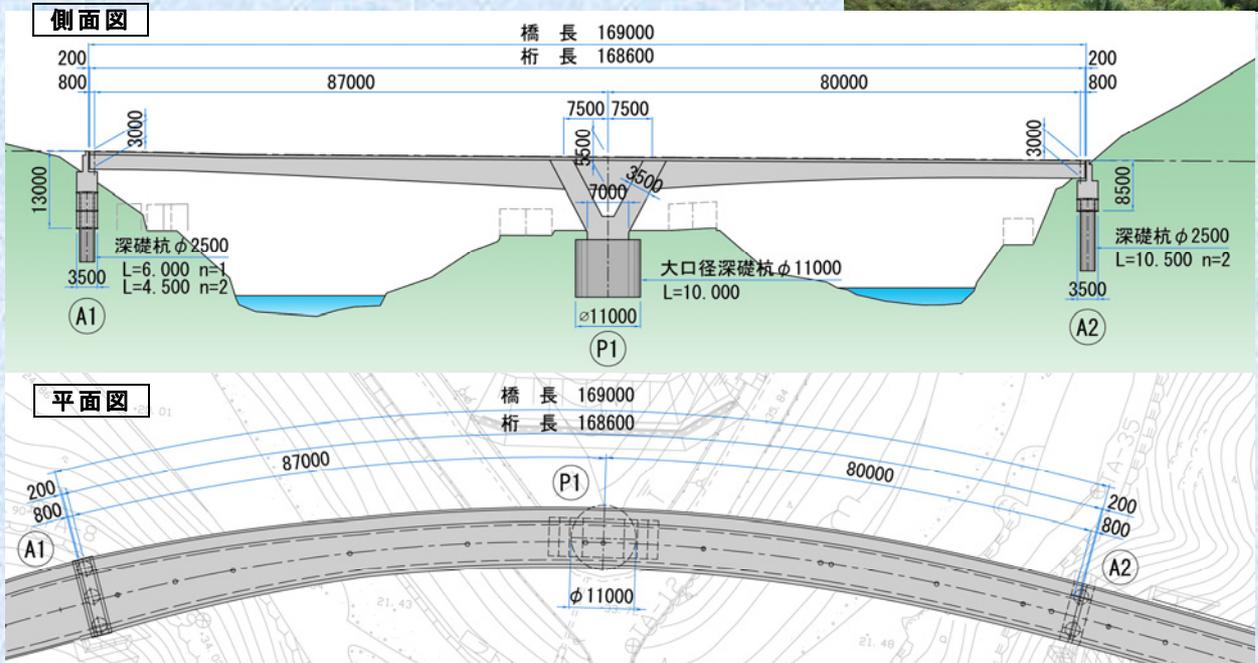
たちばなとりつけきょう  
**橋取付橋**

日本最後の清流といわれる四万十川に並行して造られた国道 441 号は、高知県幡多地域の生活基盤を支えるとともに、観光や産業振興を図るうえで重要な幹線道路です。橋取付橋は、国道 411 号の整備事業である網代バイパス工区のうち、四万十川の支流に架橋された PC 2 径間連続 V 脚ラーメン箱桁橋です。

本橋は景観検討委員会により形式決定され、景観に優れた特徴的な V 脚構造を有しています。また同時に桁高を抑えて上部工重量を低減して下部工への負担を軽減する目的より、中間橋脚付近の上部工に設計基準強度 60N/mm<sup>2</sup> の高強度コンクリートを採用しています。



◆ 一般図



◆ 橋梁諸元

工事名：国道 441 号道路改築（橋取付橋上部工）工事

発注者：高知県

設計者：(株)長大

位置：高知県四万十市西土佐橋

道路規格：第 3 種 第 3 級

形式：PC 2 径間連続 V 脚ラーメン箱桁橋

荷重：B 活荷重

橋長：169.0m

幅員：13.25~10.25m

(有効幅員 車道部 10.25~7.25m、歩道部 2.0m)

架設工法：張出し架設

PC 鋼材：主方向 SWPR7B 12S15.2 (フレシナー工法)

床版横締 SWPR19 1S21.8 (SM 工法, プレグラウトタイプ)

横桁横締 SWPR19 1S21.8 (SM 工法)

断面図

